

宗 教 者 実 務 経 験 証 明 書

本宗教教団所属の宗教者である_____は、_____年以上
の宗教者としての実務経験があることを証明します。詳細は、添付資料のとおり
です。

年 月 日

所属教団

所属寺社教会等

職名

住所・電話番号

〒

証明者氏名（ふりがな）

印

以下のページは印刷しないでください

- ・「宗教者実務経験証明書」の本紙は、A 4 用紙 1 枚に収まるように印刷してください。
- ・冒頭の空欄（下線部）には、申請者氏名と年数を記載してください。
- ・記載内容はワープロ印字でも構いませんが、押印（証明者）は必須です。
- ・「宗教者実務経験証明書」の本紙とともに、**①宗教者としての経歴と活動概要、②よくある相談内容の例、③特に印象に残っている相談内容とそれに対する自身の対応**、の三点についてワープロ印字でA 4 用紙 4 枚程度にまとめたものを添付してください。
- ・**①宗教者としての経歴と活動概要**では、臨床宗教師の教育プログラムの受講時期についても記載してください。
- ・**②よくある相談内容の例、③特に印象に残っている相談内容とそれに対する自身の対応**については、個人情報保護に留意して記載してください。

（添付書類の記載内容の例）

①宗教者としての経歴と活動概要

1990 年 3 月 15 日 ○○寺（A 県 S 市）にて得度、僧名は「□□」。

1990 年 4 月～1991 年 3 月 △△寺（K 県 K 市）にて修行

1991 年 4 月～1994 年 9 月 ☆☆大学に通いながら、○○寺徒弟として土日祝日のみ寺務見習い（法要の準備、法要の助員、月忌参りなどでは檀家からの法事の相談を受ける）

1994 年 10 月～2005 年 6 月 株式会社▼▼社の社員として勤務しながら、○○寺副住職として土日祝日のみ寺務（葬儀の助員、住職に代行して葬儀の執行、葬儀前の遺族との打ち合わせ、法事の相談など）

2005 年 7 月～2015 年 10 月 住職継承により○○寺副住職として専従で寺務（葬儀の助員、住職に代行して葬儀の執行、葬儀前の遺族との打ち合わせ、法事の相談、法事の準備・執行、月忌参り、檀家など地元の方々からの相談対応、地元の高齢者施設での法話会、地元の宗門僧侶青年会での布教活動、檀家旅行の随伴、本山での研修会参加、教区での布教活動など）

20011 年 7 月～現在 ■■寺（A 県 S 市）の住職を代務し、週に 1 回程度の寺務（葬儀の執行、葬儀前の遺族との打ち合わせ、法事の相談、法事の準備・執行、月忌参り、檀家旅行の随伴など）

2015 年 11 月～現在 ○○寺住職として専従で寺務（葬儀の執行、葬儀前の遺

族との打ち合わせ、法事の相談、法事の準備・執行、月忌参り、〇〇寺後継者の育成指導、檀家など地元の方々からの相談対応、地元の高齢者施設での法話会、地元の宗門僧侶青年会での布教活動、檀家旅行の随伴、本山での研修会参加、教区での布教活動など)

2020年4月～2021年3月 ☆☆大学主催の臨床宗教師養成講座を受講

2020年8月 〇〇宗 A 県第二教区広報委員長に就任

②よくある相談内容の例

〇〇寺において最も多い相談は、法事に関することです。一周忌については、大半の方が実施を希望されますが、その後、三回忌以降になると、実施するかどうか、するならばどのような規模（参加者、会場）か、などです。お布施の金額などを直接的に尋ねられることもあります。年に数回ですが熱心な檀家からは、月忌参りの時などに、教義について尋ねられることがあります。数は多くないですが、檀家以外の地元の方から、死生観に関する質問を受けることがあります。

③特に印象に残っている相談内容とそれに対する自身の対応

数年前のことですが、檀家以外の方から電話で、「死にたい」という訴えがありました。〇〇寺では特に電話相談を受け付けているわけではないので、戸惑いました。とりあえずお話を聞いていると、今にも死を選びそうな雰囲気だったので、「近くならば、今から私のお寺に来て下さい」と伝えましたが、別の県だというので、なんとかして自死を思い留めようとしていましたが、最後は「もういいです。さようなら」と言われて電話が切れてしまいました。今でも、その後どうなったのか気になっており、また自分の対応がどうだったのか疑問で、修行の同期の友人に相談しましたが、これといった結論は出ないままです。

また、檀家の家族から「娘が××教に入った」という相談を受けたことがあります。有名なカルト教団なので、私も心配になりましたが、どうやって対応したものか何ともアイデアがなく、助言のしようもなかったため、カルト対策をしている団体の連絡先を調べて、お伝えしただけで相談は終わりました。

これは10年以上前のことですが、高校時代の友人から「崇られたみたいだから、なんとかして欲しい」と頼まれたことがあります。私の宗派では、祈禱をしないわけではないですが、私はまったく経験がなく、どうしていいか頭を抱えました。友人の依頼でもあり、断ることもできず、とにかくお寺に来てもらい、供養をしました。とりあえず、落ち着いたのですが、この対応もよかったのかどうか、今でもモヤモヤしています。